

こちら

議会広報部

2006
新年

(4号)

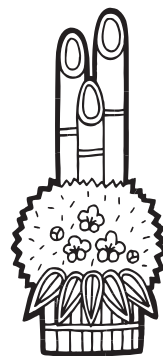
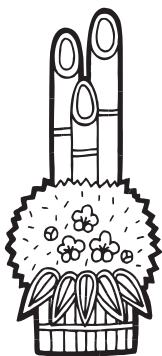
発行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL: 0820-74-1003 (議会事務局)
編集／議会広報編集特別委員会
印刷／藤井印刷

今回の主な内容

- 議長挨拶・12月定例会…………… 1 P
- 議員の抱負・12月定例会… 2～3 P
- 一般質問…………… 4～7 P
- 委員会報告他…………… 8 P



新成人176名



謹賀新年

議長 新山玄雄

周防大島町が誕生して2度目の新春を迎えました。国では、不透明な部分を残しながらも三位一体の改革が進み、地方分権の流れは奔流となって、わが町にも押し寄せてきています。

今年2月で没後十年を迎える司馬遼太郎さんは、「この国のかたち」という示唆に富んだ作品を残されました。今、わが国のかたち

を創造していくことが求められていると同じように、わが「周防大島町のかたち」を創ることが、喫緊の課題です。地域間競争も激化してきます。私たちは負けるわけにはいかないのです。力を合わせて、わが町のかたちを創り、そこに魂を入れようではありませんか。

そして、元気・にこにこ・安心の町を創ろうではありませんか。議会も力いっぱい働きます。

今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

12月定例会

周防大島町総合計画基本構想(これからの10年)を可決!

平成17年第4回定例会が12月9日から20日まで(12日間)の日程で開かれました。一般質問は8名が登壇し17の大項目について質問をしました。議案については、補正予算の一般会計では1億6,402万6千円を減額、特別会計では国民健康保険事業特別会計の1億9,445万2千円を追加し、人事に関する諮問、総合計画の基本構想、過疎計画の変更、工事

請負契約の締結など25議案を審議し、それぞれ可決しました。請願では「周防大島町花火大会の助成に関する請願書」を趣旨採択、「周防大島町の交通事故の実態を調査し、施設設備の整備改善を重視した交通事故防止計画を作成し、その実現に取り組んでいただく事に関する請願書」を採択として結審しました。

2006年への抱負

安本 貞敏

島の若者に花嫁を！

伊東 梅芳

自己にきびしく

土手 正喜

町の将来が方向づけられる大切な年！

防災活動に尽力！

平野 和生

島民が平等に行政サービスが受けられる
“まちづくり”

荒川 政義

18年度は、周防大島町の自主元年です。

和をもって頑張ろう！

浜戸 信充

初心を忘れず、初志貫徹で参る所存でございます。

杉山 藤雄

町民の「意見と要望」をしっかりと聞いて、
「具現化」に努力をする。

神岡 光人

「温故知新」の心を持って、新しい町づくりに努力して参ります。

田村 三郎

将来を担う子供達を事件から守る為に頑張
ってまいります。

伊藤 秀行

合併2年目で周防大島町にとって大事な年
になり私もガンバります。

平村 真成

「克己」 安心して住める、明るい良き町
づくりに努力する。

魚谷 洋一

剛毅果斷。新時代創造へ、皆様とともに頑
張ります。

松井 岑雄

「心」こそ、最高の財産。人間主義の社会
をめざして、常に挑戦。

12月定例会

1. 人権擁護委員候補者1名の承認

諮問第1号にて、平成18年3月31日で任期満了とな
る「竹本三千之」氏の、再任を推薦する旨説明があり、
承認した。

2. 補正予算8案を議決

一般会計、公営企業局会計並びに特別会計6件、合
計8件の補正予算案が審議され、全て可決した。内容
は下表の通り。

	補正額	補正後の総額
一般会計	△1億6,402万6千円	171億5,139万9千円
公営企業局／収益的収入	△499万円	42億8,161万8千円
〃 支出	601万2千円	42億545万2千円
資本的収入	△5億160万円	171億1,929万円
〃 支出	△2億4,582万9千円	178億2,684万2千円
国民健康保険事業特別会計	1億9,445万2千円	32億9,351万1千円
介護保険事業特別会計	1,602万5千円	26億1,153万9千円
簡易水道事業特別会計	608万5千円	9億9,319万3千円
下水道事業特別会計	721万5千円	5億1,992万6千円
集落排水事業特別会計	△6,673万4千円	14億8,032万4千円
渡船事業特別会計	48万2千円	8,239万1千円

3. 工事請負契約2件、変更契約1件を議決

新規請負契約2件と、変更契約1件が審議され全て
可決した。内容については、下記の通り。

〈新規契約〉

- ①工 事 名 周防大島町旧焼却施設解体工事
金 額 5,418万円（比率：65.7%）
相 手 方 栗田工業株式会社・大阪支社
取締役大阪支社長 高橋 則夫
- ②工 事 名 大島斎場建設用地造成工事
金 額 9,324万円（比率：94.97%）
相 手 方 ユタカ工業株式会社
代表取締役 迫田 輝男

〈変更契約〉

- 工 事 名 集落排水事業・沖浦西地区污水处理施設
土木建築
変更金額 6,010万3,050円（原契約：5,323万5千円）
相 手 方 井森工業株式会社
代表取締役 井森 浩視



周防大島町総合計画の 基本構想がスタート!!

年齢や性別に関らず、住民一人ひとりが健康で周防大島町に暮らす幸せを実感し、明日への希望と向上心を持ちながら生き生きと輝き、住民が主役となる協働のまちづくりを推進する

元気にここにこ 安心して21世紀にはばたく先進の島

元気のあるまちづくり

- (1)農林業の振興
- (2)水産業の振興
- (3)商工業の振興
- (4)観光の振興
- (5)働く場の確保と人材育成

ここにこのあるまちづくり

- (1)生涯学習のまちづくり
- (2)義務教育の充実
- (3)高等学校教育の充実
- (4)高等教育の充実
- (5)社会教育の推進
- (6)地域文化の創造
- (7)スポーツの振興
- (8)青少年の健全育成
- (9)国際交流の推進
- (10)地域間交流の推進
- (11)循環型社会の創造
- (12)自然環境の保全
- (13)道路・交通体制の整備
- (14)住宅環境の整備
- (15)上下水道の整備
- (16)生活衛生環境の整備
- (17)情報化の推進
- (18)人権が尊重された社会の実現
- (19)男女共同参画の推進

安心のあるまちづくり

- (1)地域保健の推進
- (2)地域医療の充実
- (3)地域福祉の推進
- (4)高齢者福祉の充実
- (5)障害者福祉の充実
- (6)児童・母子(父子)福祉の充実
- (7)社会保障の充実
- (8)防災対策の充実
- (9)交通安全・防犯対策の推進
- (10)消防防災の強化
- (11)公共交通対策の推進



2006年への抱負

黒田 壇 豊

民意反映の議員活動に徹する。自己の健康管理に留意。日々の充実。

広田 清 晴

平和憲法、自治制度が問われる1年です。皆さんと一緒に頑張ります。

魚原 満 晴

皆様の手と足となりのモットーで本年も頑張ります。

富田 安 英

新年の万物新生の気分旺盛の時に、町民の為に努力します。

木村 潔

「初心忘るるべからず」を基本に、情報収集と開示に努めます。

中本 博 明

輝かしい新春を迎えるにあたり皆さんの御清福をお祈りします。

平川 敏 郎

初志貫徹

田中 隆太郎

誠実・実行をモットーに明るい町作りにつとめます。

小田 貞 利

至誠一貫、努力いたします。良い年となりますように。

尾元 武

天を以て得たるは固し。人を以て得たるは脆し。不撓不屈

久保 雅 己

「大義親を滅す」の覚悟で、本年も議会活動に邁進致します。

新山 玄 雄

1ページの挨拶をご参照下さい。

武政 輝 夫

平成17年12月28日付で辞職許可

あなたの声を町政に!!

現代社会から子供たちを守ろう!

平 川 敏 郎 議 員

問 現代社会におかれた子供の命を守る取り組みについて、通学路の調査・検討。心の教室相談員の配置。C（子供）A（暴力）P（防止）プログラム導入。以上3項目について問う。

答 （教育長）通学路の調査、検討については一学期にすべての学校を対象に通学路の調査を行い、安全点検を実施している。教育委員会として、①子供一人ひとりの登下校路の点検、②点検結果と対策について保護者への通知、協力依頼、③子供が登下校において一人になる場合の対策、④危険箇所の対策、⑤学校と地域の協力による対策会議の開催等の対策を講じるようすべての小中学校に指示した。心の教室相談員の配置は現在していない。



しかし児童生徒の心の相談活動の重要性から、本年度より児童生徒の臨床心理に関して、高度の専門的な知識、経験を有するスクールカウンセラーを1名、県事業で配置している。心の教室相談員の新規配置は今後必要性や教育相談体制の面等から、研究、調査を行う。CAP（キャップ）の導入については、昨年来小中校で6校実践事例がある。現在の子供たちを取り巻く社会は、安心して過ごせる状況ではないので事例を紹介したい。



交通指導を受ける子供たち

1. 子供を事件から守る為の具体的対策を 2. イベントを通じて町の活性化を

田 村 三 郎 議 員

問 先に同僚議員が同種の質問をしておりますが、やはり子供は町の宝であります。全国的に色々な対策を立てていますが町及び教育委員会としてもしっかりとした具体的対策を立てて頂きたい。

答 （教育長）平川議員と同種の質問のため割愛させて頂く。

問 11月12・13日、ルーラルゆうゆうフェスタが開催され、スタンプラリーの客だけでも7千人を超え収益についても400万円以上と聞いている。年配の人は、この種のイベントを生きがいにして、頑張っております。又県外からのお客さんは、「魚をもっと売るようにして欲しい。」という要望もありました。



よってこのようなイベントを増し、町の活性化を望むものである。

答 （町長）町としても負担金を出しているが予算の関係で厳しい面もある。しかし、関係機関と連携を計りながら、バックアップしていきたい。又、道の駅に魚の販売所を作る計画に、助成を考えている。



道の駅販売所

一般質問

サービスは高く負担は低い方に…は

広 田 清 晴 議員

問 サービスは高い方に合わせ、負担は低い方に合わせるとの財政状況を見捨てた宣伝が合併後1年を経過した今日、町民の大きな不満となって現れている。この事の解消が町長の仕事。見解と対応を求める。

答 （町長）私は財政状況を見捨てたそのような宣伝はしていない。

問 法定協ニュース・町広報を通じ宣伝したのはまちがいない。何回宣伝したのか。多くの町民、とりわけ旧大島町民の不満は多い。一気の箱物建設を町民は望んでいない。その事より身近な環境整備、子育て支援、福祉の充実などを要望している。

答 （町長）新町建設計画の実現が仕事と思う。



問 今から周防大島町の総合計画、財政計画を議論してゆくのに本庁舎建設を何故急ぐのか全く道理がない。町民レベルでの議論を保障する事が大事。

答 （町長）新庁舎の位置については、法定協で確認し合併前の各町議会で確認されたこと。

問 それは違う。新たな庁舎建設は法定協の場でも一切確認されていない。

答 （町長）建設については3月議会で示す財政計画の中で十分議論をしていただきたい。

その他色々な課題で見解、対応を求めた。



大島町舎

大丈夫か、アスベスト！

平 村 真 成 議員

問 地産地消プロジェクトについて、第一点として、町内で出来たものを、どのようにして消費するのか。第二点として、生産者にどのように浸透させていくのか。

答 （町長）第一点では、学校・病院・老人ホーム・福祉施設等へ供給する仕組みづくりを始めたい。第二点では、町広報誌やホームページ等での情報提供、農協、県普及所の生産指導や研修会等で浸透をはかっていきたい。

問 アスベストについて、公共施設で使われているのか。使われているとしたら、対策はどのように考えているのか。

答 （町長）行政局では、町内289施設について調査した結果、自然休養村管理センターの空調配管機器室において、アスベストの使



用が確認されたが、国の基準以下であった。又教育関連施設等172棟を調査依頼した結果、「大島B&G体育館」の器具庫及び機械室天井から国の

基準値を超えるアスベストが検出されたため、直ちに全館使用禁止とした。除去する工法として、通常の施設利用では、飛散の恐れがないため、天井全面に板を張り密閉状態にする「囲込工事」を行った。公営企業局の施設については問題はない。



「大島B&G体育館」器具庫

一般質問

町の借金、町債は？

黒田 壇 豊 議員

政府の三位一体の改革決定により、地方への交付金や助成金の削減は必至と予想される。町の歳入の大きな部分を占める町債について以下質問します。

問 町債発行総額と次年度の発行予定額は。

答 （町長）一般会計、特別会計を含め、428億余あり、次年度の町債発行については未定である。

問 町債の償還について具体的な数値目標を問う。

答 （町長）30億が償還にあてられている。

問 経常収支比率を2010年度に95%、起債制限比率を14%におさえる数値目標を立てているが、これに向かうプロセスとして単年度の具体的な数値目標のマニフェストは立てている

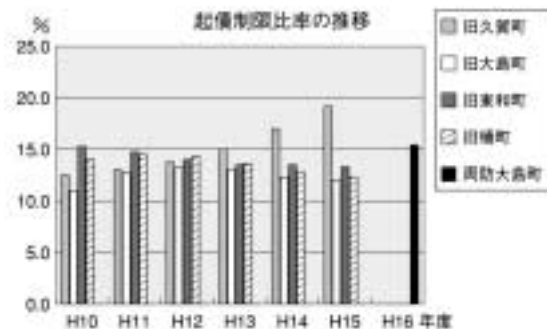


か。

答 （町長）単年度の数値目標は立てていないがこの目標に向かって強力に努力して行く。

問 起債残高は16年度末で町民1人当たり118万7,942円と発表しているが、返済可能なのか、徳政令のような救済策でもあるのか。

答 （町長）自主自立の町づくりを支える行財政改革に取り組む。



商工業へ町の積極的な連携・協力を!!

魚谷 洋一 議員

問 当地域における景気は厳しい状況が続いている中、2006年4月には、町内4商工会が合併し、商工業の再建・振興に向けての努力がなされている。毎年、町からは商工業の振興について多大なご指導をいただいているが、特にこれからの数年が大事な時期と再認識し、また、町の総合計画にも商工業の振興についての姿勢が記述されている通り、今後の格段の連携強化を望む。

答 合併による各商工会の機能の整理、統合により効率的な商工事業が展開することを期待している。今後とも総合計画との整合性を計りながら、連携強化を進めていく。

AEDの町内設置を早期に望む

問 平成16年より、AED（自動体外式除細動器）を一般住民でも使用できるようになっている。この機器は、心臓のけいれんを治す



ために、電気ショックを加えるための装置で、使用するには講習等を受講する必要があるが、全国の各自治体においてはすでに、いろいろな場所へ設置している。周防大島町としても、早急に設置すべき

では。

答 現在町内には、救急車、大島・橘・東和の各病院、大島社会福祉事務所、たちばな園、個人病院2ヵ所等に設置されている。また、町内の2つのホテルも設置について検討している。今後、突発事故による対策として、設置の緊急性は十分理解しているので、前向きに検討したい。当面、温泉施設、陸上競技場、体育館などへの設置を検討する。



東和病院に設置されているAED

一般質問

今後の町財政を、具体的な考えを問う！

小田 貞利 議員

問 合併により、約2億程度の人的経費の削減は出来たが、「負担はかるく、サービスは高く」の方針の元、きびしい町財政となっている。今後も公共下水、農業集落廃水等の整備が進むにつれ、維持管理費、起債の償還等、町負担経費の増加が見込まれるが、今後の町の方針は。

答 下水道事業を例にすると、起債の償還額は今後も増高することが予想され、維持管理経費は使用料を現状維持とすると、料金収入と維持管理費との差はますます大きくなり、一般会計からの繰り入れ増は余儀なくされる。三位一体の改革など、町の財政状況は非常に厳しく、しっかりと経費節減等の節約に努めると共に、受益者に対する適正な負担を念頭



に使用料の見直しなど、歳入確保の方策も検討していかなければならないと考えている。一例として、庁舎などの行政財産については、制限はあるものの、可能な限り空施設の

貸し出し等による有効利用、あるいは処分可能な町有財産については、売却を検討し、財源確保に努めたい。



大泊最終処分工事現場

屋代川の早期浚渫を！！

富田 安英 議員

問 昨年、今年と続き集中豪雨時に、屋代川に多量の土砂が堆積されました。ここ最近、取り除きが行われていないので、橋や土手の崩壊が危惧されます。町としての対応を問う。

答 (町長) 屋代川に多量の土砂が堆積して、橋や土手に危険を及ぼす恐れがあるということについては、早急に調査対応していただくよう大島土木事務所に要望したいと考える。

問 県の維持管理と実績についてはどうか。

答 (産業建設部長) 県管理の河川維持管理予算は、毎年一定額の予算が確保されているわけではなく、必要に応じてその都度、県本課と協議し実施している。

○平成15年度では：ダムの流入口及び直下流域の浚渫（しゅんせつ）。



○平成17年度では：一本松川の床版及び屋代川下流域の鉄扉補修がそれぞれ実施された。

問 今後の対応は。

答 県当局は、屋代川流域の7月の豪雨及び台風の影響について、河川浚渫は計画規模になっていないと判断をしている。しかしながら、地域から要望があることについては、さらに県土木に要望する。



屋代川

民生常任委員会

岡山県矢掛町国民健康保険病院を視察!!

同病院では、看護単位を3対1から2.5対1に引上げをおこない、サービスの充実を図ると共に正規職員を少なくし、委託職員で対応するなど人件費の節約も行われていた。

町立病院の建て替えにおける効率化として医師による経営参加への取り組み、及び住民への安心を与える医療サービスの提供に、行政と医療現場が共通意識を持って取り組んでいた。

介護老人保健施設に対しても行政としてできる補助等が十分になされていた。



総務文教常任委員会

兵庫県淡路市の北淡震災記念公園と神戸市の「人と防災未来センター」を視察!!

北淡震災記念公園は、平成7年に発生した兵庫県南部地震による甚大な被害、地震断層（野島断層）による道路、農地、民家などの破壊状況を保存・展示し、いろいろな角度から震災の記録を伝える施設として建設されていた。

また震災記念館「人と防災未来センター」では、崩壊していくビルや高速道路の映像、破壊された町並みのジオラマ模型、復旧・復興へと至る町と人のドキュメンタリー映像等と、今後の防災のあり方について学ぶに相応しい展示館であった。

地震発生からの迅速な行政の対応、災害救出活動の対応、防災計画の見直し等の研修を受け、この成果を本町防災計画策定の一助となるべく進言した。



岩国基地関連対策特別委員会の設置

先日、米海兵隊岩国基地への米空母艦船機の移転案を盛り込んだ在日米軍再編の中間報告が発表され、岩国基地の沖合い移設による飛行コースの変更に伴う騒音の拡大、事故被害も想定されます。一方、日米合同委員会の協議において、「岩国基地空港」での軍民併用が承認されました。

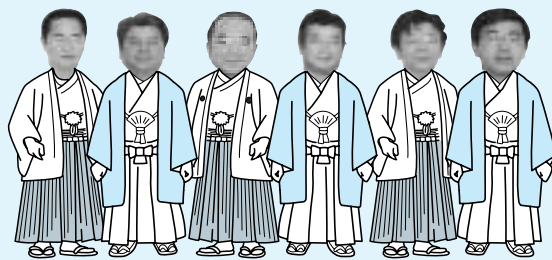
この岩国基地をめぐる諸問題は、我が周防大島町にとって甚大な影響をもたらすものと考えられることから、基地関連の調査・研究の為、特別委員会を設置しました。

任期 2年 (閉会中の継続審査・調査)	委員	副委員長	委員長
平川 敏郎	広田 清晴	松井 岑雄	魚谷 洋一
浜戸 信充	平野 和生	小田 貞利	杉山 藤雄

編集後記

一年の計は元旦にあり

周防大島町総合計画基本構想も、12月定例議会で承認され、「立案」から「実行」への、まさに『動』の年を迎えました（町長新年の挨拶より）。合併後、皆様の意見はさまざまでしたが、人口減に拍車がかかる今、将来に夢と希望が持てる町にするため何をよしとするのか。私たち議会広報部は、今こそ思いも新たに、町民の皆さまに解りやすく的確に伝えてまいります。皆さまのご意見をお待ちしています。



委員長 尾元 武
副委員長 魚谷 洋一
委員 平野 和生
委員 伊藤 秀行
委員 木村 潔
委員 小田 貞利

広報編集特別委員会

議会広報・議事録 インターネット公開へ

議会広報・議事録を「周防大島町ホームページ」で公開しています。（平成17年8月1日から公開）

周防大島町ホームページ

<http://www.town.suo-oshima.lg.jp>

なお、各図書館へは議事録を備えています。